



# 大妻同窓会山梨通信

発行 大妻同窓会山梨

令和5年5月発行



ご挨拶 一般社団法人大妻コタカ記念会会長 井上小百合

ごきげんよう。山々の美しい姿や木々の緑が目嬉しい季節になりました。山梨の会員の皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか？コロナによる様々の制限がなくなりつつあり、わたくしたちの行動様式も以前に戻りつつありますが、これからは一人ひとりの正しい価値判断が求められていくことになるのでしょうか。

今年の総会は、ノーベル賞を受賞された大村智先生の生家を訪ねると伺い、人間性豊かな大村先生を育んだ環境に触れることが出来ると、たいへん興味深く楽しみにしております。大村先生は幼いころから祖母に「社会の役に立つ人になりなさい」と言われその言葉通りに

大村先生の発見によって、どれだけ多くの人の命が救われたことか、おそらく我々の想像をはるかに超えるものではないかと想像します。

私の手元に、大村先生が受賞された時に話しておられた言葉のメモがあります。それは「若い人に『恕(じょ)の心』が大切だと伝えたい。人を思いやる気持ちです。常に思いやりの気持ちを持って一生懸命やりなさい。きっと誰かの目に留まるから。」というものです。この「思いやりの気持ちを持って誠実に生きる」ということは、大妻コタカ先生が常に教え諭しておられたことで、大村先生の言葉と相通じるものと思います。

コタカ先生は「感謝とかありがたいとかいうことは決して強制的ではなく、ごくありのままの感情から流れ出る気持ちだと思います。私どもは、毎日の生活にいかにも多くの恵みを受けているかと考えますと、どんなものにもつまらないことにも精一杯の愛情を持って生きようと思います。」ともお話されています。

歳を重ねていっても思いやりと感謝の気持ちを大切に、努力する気持ちを持ち続け、多くの先人の示唆を心にとどめて行きたいものと改めて思いました。これからも大妻同窓会山梨が着実な歩みを続けていけますようにご祈念申し上げます。

## 山梨通信に寄せて

大妻同窓会山梨代表 窪田武子

会員の皆様、ごきげんよう。作年度もコロナに悩まされた一年でした。相変わらずロシアとウクライナの戦争も静まりません。世界がすっかり変わってしまいました。これから先どうなるのかと不安が募るばかりです。大妻同窓会山梨も皆様のご協力により、無事に総会が開催でき、誠に感謝申し上げます。秋の親睦会では、同窓会の会員であります、山寺さんのご協力により井筒屋醤油株式会社の工場見学を開催しました。たいへん貴重なものを拝見し、たくさんのおみやげまで頂戴し、楽しいひと時を過ごしました。たくさんのご参加をいただきありがとうございました。

### 2023年大妻同窓会山梨 秋の親睦会

#### 「井筒屋醤油さんの工場見学」

令和4年11月27日



山梨で醤油を醸造しているのは現在たったの2軒、そのうちのひとつが韮崎の井筒屋醤油さん、我が同窓生である山寺直美さんのお醤油屋さんです。昔ながらの解放タンクによる無加湿、無添加の製法を続けるのは、井筒屋さんだけ。引き継がれた伝統の製法を守り、味噌と醤油と麴を製造販売する井筒屋さんのお蔵におじゃましました。社長である山寺さんのご主人の丁寧な説明と味噌のいい香りにつつまれた豊かなひとときでありました。



#### ご参加いただいた 小野百合子さま よりご感想をいただきました

天候にも恵まれた11月27日、山梨支部のメンバー12名の出席で会員である山寺様の歴史ある韮崎「井筒屋」さんの味噌醤油作りの工場見学をしました。ご主人の社長さんが丁寧な説明をして下さりみなさん熱心に聞き入っていました。美味しいお昼を食べて午後からは名誉市民である大村博士の故郷の生家である韮崎大村記念公園を散策しました。私は韮崎に長年住んでいながら今回が初めてでした。こんなにも素晴らしいところですので、他県の人が見学に来ているのもうなづけました。ほんとうに今日は、充実した一日で大満足でした。

## 大妻同窓会山梨総会が開催されました

令和4年6月26日、大妻同窓会山梨が開催、井上会長をはじめ元気な会員の皆さんが集まりました。久しぶりの再会に皆さん、心弾ませたことでしょう。お食事の後は、昭和歌謡の女性ユニット『月と堀』による楽しい歌声に思わず歌を口ずさんだり、お気に入りの歌をリクエストをしてみたりと、たいへん楽しいひと時でした。お集まりいただいた皆さん、ありがとうございました。



当日参加された菊島晴子さんが感想を寄せてくださいました。

昨日は、楽しいひと時をありがとうございました。皆さまの顔の余韻が残っており、家事もスムーズに運びそうです。会長はじめ、皆さんのご挨拶がお上手で、役員の皆さんもまとまりよく信頼感がみなぎっておりました。小百合先生と同じお席でゆっくりお話できて感謝です。

## 大妻コタカ記念会による

令和4年11月24日

### 菊島晴子さんの聞き取り取材が行われました。

我らが先輩菊島晴子さまの大妻の学生時代のお話をぜひうかがいたいと記念会よりお声がけをいただき、窪田代表も同席し菊島さまの学生時代当時の聞き取り取材がありました。当日は、東京より記念会の井上会長とご担当の高垣さんがお出向き下さり菊島さんのご自宅で、学生時代のお話をうかがいました。記憶力の確かなことに皆、びっくりしてしまいました。



お会いしたいと思っていた大先輩にお目にかかることが出来、感謝ばかりです。引き続き菊島晴子様の聞き取り調査を実施いたしたく思っています。

高垣佐和子さまより

当日は素晴らしいご自宅にお招きいただき立派なお庭を眺めながら手製のお赤飯と茶碗蒸しておもてなし頂きました。ご馳走様でした。

窪田 談

## 一般財団法人「大妻コタカ記念会」「大妻同窓会山梨」へのご協力をお願いします。

我らが母校「大妻学院」の発展と協力、公益に資する団体としての社会文化の発展のために「大妻コタカ記念会」および、同窓会の事業活動費、会員相互の親睦と母校発展への協力のために「大妻同窓会山梨」へのご協力をお願いいたします。振込先が異なります。お手数ですが、それぞれの振込先をご確認のうえお振込をいただけますようお願い申し上げます。

\*大妻コタカ記念会 年会費 2000円 同封の郵便振替用紙に必要事項を記入の上、お納めください。  
\*大妻同窓会山梨 年会費 1000円 お振込先

どちらの会費も数年分をまとめて納入することが出来ます。大妻コタカ記念会に納入頂きますと、同窓会誌「ふるさと」がお手元に届きます。大妻の現在の様子や地方同窓会の活動が書かれています。

送り出す夫の背中に  
六十年経し時の重さが

焼け石に水巻くように  
炎天の庭の木立に散水をなす

他愛なき話も出来ず果籠もりて  
三猿のごと日々すごせり

菊島清子さんの俳句作品

会員の皆さんの  
趣味のコナー  
皆さんの作品を  
ぜひご紹介ください



堀内智恵さまの絵手紙

編集  
後記

まだまだ収束とはいかない不安定な世界情勢など不安な世の中ですが、皆様のご協力のおかげで同窓会通信を発行することができました。ぜひ皆様のご意見お聞かせ下さい。今年も暑い夏がやって来ます。ご自愛くださいませ。